



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月12日

上場会社名 株式会社山大 上場取引所 東
コード番号 7426 U R L <https://www.yamada-i.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 暢介
問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 加藤 誠 T E L 0225-93-1111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円 3,024	% 6.3	百万円 △245	% —	百万円 △236	% —	百万円 △237	% —
2025年3月期第3四半期	2,845	—	△313	—	△298	—	△300	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 △229百万円 (−%) 2025年3月期第3四半期 △299百万円 (−%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 △213.90	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	△270.59	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、2025年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年3月期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 4,622	百万円 1,904	% 41.2
2025年3月期	5,212	2,156	41.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 1,904百万円 2025年3月期 2,156百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 20.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 4,492	% 8.6	百万円 △404	% —	百万円 △393	% —	百万円 △397	% —

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：無 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期 3Q	1,187,368株	2025年3月期	1,187,368株
2026年3月期 3Q	76,529株	2025年3月期	76,529株
2026年3月期 3Q	1,110,839株	2025年3月期 3Q	1,110,839株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料 P. 3 「1. 経営成績等の概況 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績及び財政状態の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用、個人消費の回復、インバウンド需要の拡大等により景気は緩やかに回復していますが、米国の関税政策に対する不確実性、ロシア・ウクライナや中東の不安定な国際情勢の長期化、物価上昇等より、依然として不透明な状況が続いております。

住宅建築業界におきましては、物価の高騰等により新設住宅着工戸数は軟調に推移しております。また、ウクライナ、中東の不安定な国際情勢の長期化等による資源価格等の高騰などにより、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもとで、改正木材利用促進法（脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律）が2021年10月1日に施行され、対象が民間建築物や中高層建築物を含む「建築物一般」に拡大されたこと、更に地球上で唯一の循環資源である木材を生かして「持続可能な開発目標 SDGs」の実現に貢献していくことを宣言いたしました。私たちは、「木材の温もりと笑顔あふれる社会」を目指し、非住宅建築の木造化を推進し、地産地消の認証木材や合板木材（クリーンウッド法）使用による森林保護や高性能住宅により二酸化炭素の排出量を抑制し、地球温暖化防止へ貢献してまいります。

住宅資材事業では、プレカット受注を営業戦略の柱として、建材・住設・エクステリア等のトータル受注を目指してまいりました。また、製材工場ウッド・ミルのブランドであります国産人工乾燥杉製材品「宮城の伊達な杉」の更なる普及に向け、「宮城の伊達な杉の家を創る会」と連携し販売を推進しました。

建設事業では、「杉とともに300年 確かな技術が届けるこちよい暮らし」をコンセプトに植林から製材、建築、アフターサービスまでトータルに手掛けており、宮城県産の「宮城の伊達な杉」を使用した骨組みを採用しています。地産地消の最高ブランドである材料と技術で人と人とが創り上げていく住まいを販売してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,024百万円（前年同期比6.3%増）、営業損失245百万円（前年同期営業損失313百万円）、経常損失236百万円（前年同期経常損失298百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失237百万円（前年同期四半期純損失300百万円）となりました。

なお、セグメントごとの経営業績は、次のとおりであります。（各セグメントの売上高は、外部顧客に対するものであります。）

ア. 住宅資材事業

大型木造物件と地域に根ざした営業展開を図るため地場工務店に対する営業活動に注力しましたが、物価の高騰等により新設住宅着工戸数は軟調に推移し、また、原油等の資源価格の高騰や仕入資材等の価格の高騰等により、売上高2,212百万円（前年同期比0.2%減）、営業損失35百万円（前年同期営業損失69百万円）となりました。

イ. 建設事業

注文住宅等の競争が厳しく、売上高758百万円（前年同期比30.8%増）、営業損失47百万円（前年同期営業損失36百万円）となりました。

ウ. 賃貸事業

賃貸収入は、売上高52百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益35百万円（前年同期比20.9%増）となりました。

財政状態は次のとおりであります。

ア. 資産

当第3四半期連結会計期間末の資産は、4,622百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金604百万円、土地1,890百万円であります。

イ. 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債は2,718百万円となりました。その主な内訳は、支払手形及び買掛金438百万円、長期借入金939百万円であります。

ウ. 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は1,904百万円となりました。その主な内訳は、資本金1,103百万円、利益剰余金599百万円であります。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月11日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更ありません。

なお、当該業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて行ったものであります。今後、経営環境の変化等により、当社の業績に影響を及ぼす可能性が生じた場合は、適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	1,233,531	604,286
受取手形及び売掛金	455,221	418,525
電子記録債権	24,984	66,485
完成工事未収入金等	126,009	11,726
商品及び製品	207,837	324,573
仕掛品	160,920	174,471
原材料及び貯蔵品	102,495	148,831
販売用土地建物	387,417	305,676
未成工事支出金	2,031	26,147
その他	27,860	39,943
貸倒引当金	△330	△270
流动資産合計	2,727,980	2,120,399
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	189,431	185,717
機械装置及び運搬具 (純額)	465	3,080
土地	1,890,397	1,890,397
その他 (純額)	234,395	254,742
有形固定資産合計	2,314,689	2,333,938
無形固定資産		
のれん	16,867	14,204
その他	1,842	3,664
無形固定資産合計	18,710	17,869
投資その他の資産	151,416	150,456
固定資産合計	2,484,817	2,502,263
資産合計	5,212,797	4,622,663
負債の部		
流动負債		
支払手形及び買掛金	272,802	438,169
電子記録債務	479,918	273,263
工事未払金	186,528	55,031
短期借入金	195,000	193,000
1年内返済予定の長期借入金	272,100	257,740
未払法人税等	5,104	3,002
賞与引当金	17,976	4,630
完成工事補償引当金	4,330	3,370
その他	177,628	181,208
流动負債合計	1,611,388	1,409,415
固定負債		
長期借入金	1,088,206	939,687
退職給付に係る負債	207,901	217,344
資産除去債務	5,000	5,000
その他	143,579	146,683
固定負債合計	1,444,686	1,308,715
負債合計	3,056,075	2,718,130
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,103,184	1,103,184
資本剰余金	97,927	97,927
利益剰余金	858,920	599,091
自己株式	△54,312	△54,312
株主資本合計	2,005,718	1,745,889

その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,792	18,431
土地再評価差額金	140,211	140,211
その他の包括利益累計額合計	151,003	158,642
純資産合計	2,156,722	1,904,532
負債純資産合計	5,212,797	4,622,663

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	2,845,813	3,024,354
売上原価	2,562,212	2,671,844
売上総利益	283,600	352,509
販売費及び一般管理費	597,448	597,937
営業損失 (△)	△313,848	△245,427
営業外収益		
受取利息	230	569
受取配当金	1,966	2,132
受取助成金	4,965	4,426
仕入割引	3,540	3,525
その他	10,368	9,276
営業外収益合計	21,070	19,930
営業外費用		
支払利息	5,551	9,787
その他	185	975
営業外費用合計	5,736	10,763
経常損失 (△)	△298,513	△236,261
税金等調整前四半期純損失 (△)	△298,513	△236,261
法人税、住民税及び事業税	2,065	2,729
法人税等調整額	—	△1,378
法人税等合計	2,065	1,350
四半期純損失 (△)	△300,579	△237,612
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△300,579	△237,612

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純損失 (△)	△300,579	△237,612
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,115	7,639
その他の包括利益合計	1,115	7,639
四半期包括利益 (内訳)	△299,463	△229,972
親会社株主に係る四半期包括利益	△299,463	△229,972
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額
	住宅資材事業	建設事業	賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,216,686	580,063	49,063	2,845,813	—	2,845,813
セグメント間の内部売上高 又は振替高	119,545	—	—	119,545	△119,545	—
計	2,336,232	580,063	49,063	2,965,358	△119,545	2,845,813
セグメント利益又は損失 (△)	△69,996	△36,709	29,483	△77,222	△236,625	△313,848

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△236,625千円は全社費用 (主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等) であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(のれんの金額の重要な変動)

前第3四半期連結会計期間において、ビィ・エル・シー株式会社の全株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い、「住宅資材事業」セグメントにおいてのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は17,755千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額
	住宅資材事業	建設事業	賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,212,787	758,699	52,867	3,024,354	—	3,024,354
セグメント間の内部売上高 又は振替高	69,645	—	—	69,645	△69,645	—
計	2,282,432	758,699	52,867	3,093,999	△69,645	3,024,354
セグメント利益又は損失 (△)	△35,609	△47,821	35,633	△47,797	△197,630	△245,427

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△197,630千円は全社費用 (主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等) であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	91,902千円	9,982千円
のれんの償却額	—	2,663千円